

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・曜日や場面によっては不足と感じる時もある。増員予定。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・活動フロアに関しては適切だと思うが、当施設が三階にあるため、手すりを設置し昇降時にはスタッフが付き添い安全に配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・ミーティング時にその日の支援内容や役割分担の確認を行い、職員で話し合う時間を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートの内容を研修の題材とするなど改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・(株)WAWAのホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・他事業所や相談員に訪問してもらい、その都度ご意見を頂いている。

	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度定期的実施。その他、随時必要に応じて実施している。 ・外部研修には積極的に参加。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や懇談会に保護者と情報の共有を行い、保護者のニーズ等を確認し相談の上、計画の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員で活動の内容を決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・子供希望を尊重し活動内容を決めている。また季節に合わせた活動を行うなどしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間や季節に合わせた活動内容を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・その時の子供の状況に応じた計画(個別・集団)にしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを行い、その日の活動内容及び支援の内容方法について確認している。

適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日、各自ふりかえりシートの記入を行い、翌日に共有・検討している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々記入しているふりかえりシートを基に、支援の検証・改善を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年二回の懇談会を実施している。(必要に応じて随時実施)
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・情報に関しては学校と直接連絡は電話で行っている。下校時刻等は保護者からの連絡による事がほとんど。今後学校との情報交換の場を設ける方法を検討中。 ・特に必要のある利用者については、学校及び、相談員と連携をとっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			

②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・情報の提供を行えるように準備は行っている。
②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修が実施される時には積極的に参加するようにしている。
②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・公園等へ出向き、障害のない子供と一緒に活動を行っている。
②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			・協議会へ参加している。
②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・利用時には連絡帳に必要事項を記入し、必要に応じて電話や面談を行っている。
②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・研修等への参加を積極的に行い支援を行っている。
③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時及び懇談会等で運営規定及び利用者負担についての説明を行っている。
③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があれば、電話や面談をして対応している。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在、父母の会はない。今後アンケートや聞き取りを行い必要に応じて開催していきたい。 ・保護者同士が交流できるイベント等を企画していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情の窓口を設けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・新聞形式で発行している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・新聞への文章等には個人を特定できないよう配慮している。 ・写真掲載については保護者に確認をしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・視覚情報の補助にツールを使用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在は実施していない。今後、地域住民が参加できるイベントを考えていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・契約時及び懇談会を実施の際に伝えている。職員には研修・訓練を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・消防の訓練に加え、災害に応じた訓練を実施している。(年4～5回程度)

④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止の研修を行っている。
④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束は行っていない。必要がある児童等が利用を希望する場合は、保護者などと検討し対応する。
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・アレルギーについては、アセスメント等であることが確認された場合、保護者と話し合い、必要があれば医師の指示書に基づいて対応する。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・報告書を作成し、ヒヤリハットの検討会を月一回実施している。